

チャレンジ!

平成28年度
研究通信
研究部
H28,6,10 発行

例年より2週間早い指導主事計画訪問でした。個別の指導計画や年間指導計画等の作成、授業づくりと並行して進み、慌ただしく過ぎてきましたが、「学部の目標や重点とつながる日々の授業」をより意識することができたのではないかと思います。先生方が頑張った分、子どもたちが主体的に活動する場面がたくさん見られた授業でした。指導主事からの助言を真摯に受け止め、今後も日々の授業づくりに生かしていきましょう。

指導主事計画訪問の助言から

～授業について～

■：改善点 ○：良かった点

【T Tの連携】

○「見てください」と言わなくとも、T1のしぐさや声の強弱などにより、生徒が自然とT1に注目している。

■大人数の授業の時のT1への注目のさせ方「見てください」ではなく、T2以下がどのような手立てを講じれば良いのか。

■教師が教えるべきところと、自分たちで考えさせるところのバランスを考える。

【グルーピングの工夫】

■様々な人との関わり、自己理解、他者理解を深めるといった視点から、ねらいに沿って集団を徐々に大きくしたり、グルーピングを変えたりしていく。

【板書】

○めあてや学習活動がしっかり明記されていて、何を行うのか分かりやすかった。

【指導の評価の観点】

■「(生徒が)～できるように準備していたか」だと、授業前にもできる。「準備していたものが話し合いに有効な手立てとなっていたか」と書き表すとよい。また、評価の観点を具体的にすることで、指導も焦点化される。

【児童生徒の動機づけとなる導入】

○わくわくするような仕掛け。期待感を高める工夫。

○活動の意義「なぜこれをやるのか」を考えさせることで、目的意識や意欲が高まる。

【話し合い活動】

■「何を決めるのか」「どこまで決めるのか」「どう発表するのか」を子どもたちに分かるように提示する。ゴールをイメージできるように、設定する。

■ワークシートは生徒の思考の手がかりとなるもの。教師間でイメージを共有する。

○司会や板書を生徒が進めているグループもあるのが良かった。実態に応じて、児童生徒が主体でできる活動を増やす。

■教師がそばにいと頼ってしまう。支援の仕方を学年間で共通理解する。

【障害の重い子どもへの配慮】

■肢体不自由児の児童生徒について使いやすい用具の工夫をする。

握りやすい太さ、固定して使いやすくするなど

■クッキーが焼けるにおい、温度を感じることも勉強。五感を刺激する活動など多様な学習活動を考慮する。



～日々の授業改善について～

日々の授業をチェックするのに、授業実践チェックリストがあります。授業実践チェックリストの項目と授業振り返りシートの項目はリンクしています。授業を自分自身や参観者でチェックし、振り返りシートの4つの観点「人的環境」「物的環境」「学習活動」「目標における児童生徒の姿」で具体的改善点を挙げて、次時の授業につなげていきます。

【授業実践チェックリスト等を関連させた授業振り返りシートの活用】

授業実践チェックリストの項目	授業振り返りシートの項目	主な改善の視点
・教師の基本姿勢 ・説明・教示・評価 等	・人的環境の整備	・見通しや意欲をもてる働きかけ ・子ども同士をつなぐ支援 ・T Tの役割分担
・環境設定及び、教材・教具等	・物的環境の整備	・活動の流れに沿った動線 ・実態に応じた教材・教具 ・分かりやすい板書、掲示
・学習のねらい及び 学習活動の設定	・学習活動	・授業目標を達成する学習活動 ・児童生徒がやりがいと手応えを感じる学習量
(授業デザインチェックリスト) ・指導計画・内容	・目標・目指す姿における児童生徒の姿	・授業目標の達成度 ・主体的に活動する姿(次時へつながる姿)

※研究授業に係る単元では必ず実施してください。その他の授業においても、是非活用してください。

今月の授業づくりのテーマ！！

指導主事計画訪問の授業時、すべての学習グループを参観しましたが、「めあて」がどの学習グループでもきちんと提示されるようになりました。職員全体で、気を付けるべきことにみんなで向かうことで、お互いに気付き合い日々の授業改善につながっていくと実感しました。そこで、今年度は毎月の授業づくりについてテーマを決め取り組んでいきます。今月のテーマは、**めあての内容の吟味** です。

めあてとは？

- ・授業の目標を子どもの立場で示したもの。本時の授業のまとめ（ゴール）に向かう、子どもの道しるべとなるもの。

～学習課題6つの条件～

- ・子どもの実態に即し、生活習慣や既習事項を基礎としたもの
- ・具体的なもの
- ・子どもが主体的に活動できるもの
- ・程よい抵抗感があるもの
- ・子どもの発想が生かせるもの
- ・解決の見通しや次の学習課題に結び付くもの

出典：北九州市教育委員会 教師のしおり

自分の授業を振り返っても、「めあて」が学習活動の提示だけで、どのように活動に取り組むのか明確ではなかったと反省しています。これが完璧という答えは出ませんが、今月は「めあて」にこだわって、授業づくりに取り組んでみましょう。